

小学校 4 年

ごみ調べから学習課題を見つけよう

守口市立金田小学校

教科

社会

単元名

住みよいくらしとごみ

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

A-STEP 2, B-STEP 2
C-STEP 2, G-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・ごみを処理する仕組みや処理に協力する人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、ごみ処理に見られる課題を把握し、その課題の解決に向けて社会への関わり方を考え、表現する力。
- ・ごみの処理やリサイクルについて、自ら課題を見つけ、交流を通して主体的に学習課題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・ごみを処理する仕組みについて、人々の生活との関連を理解するとともに、調査活動、地図帳や学校図書館の各種の具体的資料を根拠に、必要な情報を調べまとめる技能。

単元における学習の展開（全 9 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	・わたしたちが出すごみ (1/2 本時) (☆) ・ごみを集める仕事
第 2 次 (4 時間)	・ふつうごみのゆくえ ・清掃工場で働く人のくふう ・資源ごみのゆくえ ・もやしたごみの灰のゆくえ
第 3 次 (3 時間)	・ごみの処理のうつり変わり ・リサイクルへの取り組み ・ごみをへらすために (☆)

本時のねらい

ごみ調べの結果を表した資料や学校図書館の資料から気づいたことや疑問を言語化し、交流を通して疑問を広げながら、ごみの処理についての学習課題を見いだす。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (5 分)	1. 学習の見通しをもつ。 ・ルーブリックを見て、本時のめあてやゴールを確認する。	●ルーブリックを提示し、本時でめざす姿を共有する。
展開 (35 分)	2. ごみ調べの結果を集計したグラフを見て、気づいたことを出し合う。 ・グラフから読み取れることを整理する。 3. 学校図書館の図書資料から、ごみの「量」「種類」を表す資料を探し、ごみ調べの結果と共通点を見いだす 4. 気づきを交流し、不思議に思ったことや疑問を出し合う。 ・気づきを分類、整理しながら、不思議に思ったことやもっと知りたいことを出し合う。 5. 学習課題をつくる。 ・交流した内容をもとに、ごみの処理についての学習課題を設定する。	●個人→ペア→グループで交流する。 (グループで共通する気づきを整理し、付箋にまとめることで考えを可視化できるようにする。) ★自分たちで調べた結果と、図書資料とを比較し、共通点を見いだす。 ●気づきの数だけでなく、ごみの「量」「種類」「出し方」などの観点で整理し、資料を根拠に表現することをめざす。(グラフや表を根拠として気づきを表現できるよう問い返す。) ●児童の発言を整理しながら、学習課題を学級全体で共有する。
まとめ (5 分)	6. 本時の学習をふり返る。	●ルーブリックをもとに、自分の学びをふり返る。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・本単元に限らず、学校図書館担当職員（学校司書）と相談して、単元に必要な図書資料を準備しています。
- ・自分たちが調べたグラフと図書資料を比較することで、共通点に着目できます。
- ・共通点に着目することで自分の気づきや疑問がより確かなものになり、友だちとの交流を通して新たな視点や疑問をもち、学習課題をつくりあげる姿につながりました。



友だちと話して見つけた気づきや疑問を付箋に書いている姿